

各 位

2021年12月15日

会社名：八^ヤ洲^{シマ}電機株式会社

代表者名：代表取締役 会長兼社長 太田 明夫

(コード：3153 東証1部)

問合せ先：経営企画本部 担当本部長 安重 貴城

(TEL：03-3507-3349)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日プライム市場を選択する申請書を提出しました。当社は移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、1日平均売買代金については基準を充たしておりません。当社は、2025年3月までに上場維持基準を充たすべく取組みを進めてまいります。

	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均売買代金
当社の状況 (移行基準日時点)	173,114 単位	168.0 億円	79.4 %	19,727,161 円
上場維持基準	20,000 単位以上	100.0 億円以上	35.0 % 以上	20,000,000 円 以上
計画書に 記載の項目				○

※ 当社の適合状況は、株式会社東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組みの基本方針、課題及び取組み内容

当社は、プライム市場の上場維持基準の1日平均売買代金を充足するため、「企業価値の向上」「コーポレートガバナンスの強化」「IR活動の充実」の方針のもと、次頁(1)～(3)の取組みを実施してまいります。

(上場維持基準適合に向けた取組み)

(1) 企業価値の向上

当社グループの中期経営計画（2020年4月～2025年3月）では、「高度情報化時代に対応し、社会に貢献する「エンジニアリング会社」として、付加価値の高い技術・サービスを提供し、お客様とともに未来を創る。」というビジョンのもと、2024年度の目標値（連結売上高 700億円、連結経常利益 35億円、経常利益率 5.0%）の達成を目指し、取組んでおります。具体的には、下記基本戦略に取組み、当社グループ一体で更なる成長戦略を推進してまいります。

(八洲電機グループ 中期経営計画「基本戦略」)

- ① 八洲独自の「エンジニアリング会社」の推進を図る。
- ② ビジネスパートナーの拡大及び新規商材を創出し事業規模の拡大を図る。
- ③ M&Aを実施しエンジニアリング力の強化及び事業規模の拡大安定を図る。
- ④ 八洲電機グループ力強化によるビジネスチャンスの拡大を図る。
- ⑤ ワークスタイル変革により生産性の向上を図る。
- ⑥ コンプライアンス及びCSR活動を推進する。

(2) コーポレートガバナンスの強化

2021年6月に改訂された「コーポレートガバナンス・コード」において、プライム市場に適用される原則や改訂となった原則をはじめ、全ての原則について検討し、プライム市場に要求される水準を充足するよう取組んでまいります。具体的には、「コーポレートガバナンス・コード」に対して、下記①～⑤を対応してまいります。

- ① 議決権電子行使プラットフォームを、2022年6月開催予定の当社「第78期 定時株主総会」より利用可能とします。
- ② 当社が必要と判断する情報（定時株主総会招集通知・決算短信等）について、英語での開示を、2022年4月より実施します。
- ③ 「環境への取組み」「女性活躍推進の取組み」「健康経営の取組み」などの「サステナビリティに関する取組み」を、一層強化して取組んでまいります。
- ④ 独立社外取締役が独立した客観的な立場で、経営陣に対する役割・責務を果たすため、取締役会の体制整備等をすすめてまいります。また、当社が自主的に設置している指名・報酬諮問委員会の構成員についても体制整備をすすめてまいります。
- ⑤ 当社の経営戦略に対し、当社が備えるべきスキル等を特定し、各取締役の知識・経験・能力等を一覧化したスキルマトリックスを作成するなどの整備を行い、取締役会の役割・責務の実効性確保に努めてまいります。

(3) IR活動の充実

当社の事業内容や成長戦略等の理解を深めて頂けるよう、機関投資家や個人投資家の皆様に対し、IR活動を積極的に行ってまいります。具体的には、当社ホームページや発行物等の情報媒体を活用し、また、説明会の開催やIRイベントへの出展等を行うことで、IRに関する情報発信の充実を図ってまいります。具体的には下記①～⑤を行ってまいります。

- ① 投資家の皆様に、事業内容や成長戦略等を理解を深めて頂けるよう、当社ホームページを、2022年4月にリニューアルオープンする予定です。
- ② 毎年発行している「CSRレポート」を、2022年度より「コーポレートレポート」（仮称）として刷新し、「環境への取組み」を始めとした「サステナビリティに関する取組み」などの非財務情報の発信を充実させてまいります。
- ③ 当社の事業内容等の理解を深めて頂くよう、投資家向け説明会の開催やIRイベントへの出展を、継続的かつ定期的を実施します。
- ④ 機関投資家やアナリスト等とのミーティングの機会を積極的に増やし、投資対象となるように取組んでまいります。
- ⑤ 新聞や雑誌等のメディアに掲載される機会が増加するよう、情報発信を充実させ、メディアとの良好な関係を構築してまいります。

以 上

「当資料の将来見通しに関するリスクについて」
当資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合がございます。